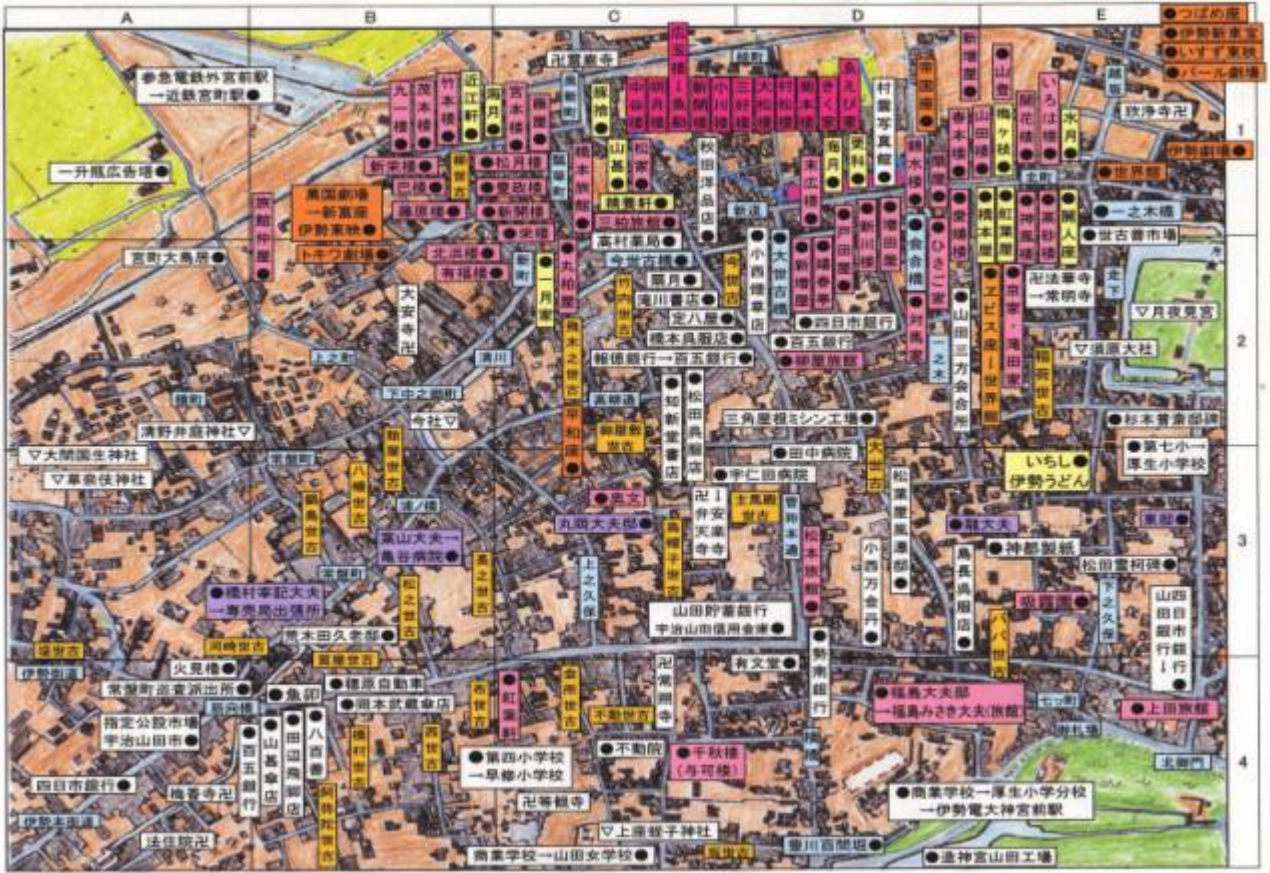


近世伊勢参宮名所図会

月夜見宮～筋向橋 周辺

2023年9月1日

～伊勢探訪地図～



大日本帝国陸地測量部 昭和5年実測及仲図修正の地図の一部を拡大し着色、古い絵葉書に出てくる名所について、あった(と思われる)場所について年代無視で示しています。間違っている所や追加しなければならない所もあると思いますので、現地に行って確認し更に精度を上げたいと思っていますし、ご指摘いただければ幸甚です。

公共	市指定公設市場	こうせつしじょう	A4	浦口2
公共	常盤町巡査派出所	ときわちようじゅんさはしゅつしよ	A4	常盤2
公共	山田三方会合所	やまださんぼうかいごうじよ	D2	一之木1
公共	日赤山田病院	にっせきやまだびょういん	B1	御園
学校	厚生小学分校	こうせいしょうがくぶんこう	D4	八日市場町
学校	厚生小学校	こうせいしょうがっこう	E23	一志町 母校
学校	早修小学校	そうしゅうしょうがっこう	B4	宮町1か、常盤2?
学校	山田女学校	やまだじょがっこう	C4	八日市場町
川堀	清川	きよかわ	B2	辻久留1～吹上2へ
	辻久留1にある上社を源に、筋向橋・今社・月夜見宮・伊勢市駅脇を通過して勢田川に注ぐ。現在は大半が暗渠となり、上は駐車場に利用されている。			
川堀	豊川百間堀	ほりかわひゃっけんぼり	D4	八日市場町
橋	今世古橋	いまぜこばし	C2	大世古2 町名今世古旧曾禰町字天機院世古
橋	大世古橋	おおぜこばし	C2	大世古2 大世古交差点
橋	会合橋	かいごうばし	D1	大世古2 まるこ幼稚園交差点
橋	一之木橋	いちのきばし	E1	一之木2 現一之木交差点手前
橋	筋向橋	すじかいばし	A4	常盤2
	昔は交通の要所だったが、今は川が暗渠となり、橋だけが残っている。			



山田三方会合所跡碑 そばの橋は会合橋という 大世古橋 曾禰町飛木之世古
 県道37号線沿い清川暗渠に残る橋は今世古橋、会合橋、大世古橋、一之木橋が残るのみ。



厚生小学校 昔ながら樺の大木があった 豊川百間堀 筋向橋

道路	新道通り	しんみちどおり	C1	大世古2～一之木2
	新道は薬屋 松原清兵衛が文政11年(1828年徳川11代將軍家齊の時代で40年後が明治維新)尼辻より一之木町欣浄寺跡を貫通して河崎に至る道路を拓いてから急速に発達。昭和4年発行の宇治山田市史によると、改修された道路の両側に、後述「靈巖寺」門前町にあった茶屋を移転、新道廓が出来たとある。当時遊女屋は16軒あった。			
道路	高柳通り	たかやなぎどおり	C2	曾祢1～宮町1
駅	外宮前駅	げくうまええき	A1	旧御園村 参急電鉄 後、近鉄宮町駅
駅	大神宮前駅	だいじんぐうまええき	D4	八日市場町 伊勢電終着駅
施設	一升瓶広告塔	いっしょうびんこうこくとう	A1	旧御園村
施設	火見櫓	ひのみやぐら	A4	常盤2
施設	宮町大鳥居	みやまちおおとりい	A2	宮町2 昭34伊勢湾台風時倒壊
神社	今社	いまのやしろ	B2	宮町1
神社	大間国生神社	おおまくなりじんじゃ	A2	常盤1
神社	上座蛭子神社	かみざひるこじんじゃ	C4	八日市場町
神社	清野井庭神社	きよのいばじんじゃ	A2	常盤1
神社	草奈伎神社	くさなぎじんじゃ	A3	常盤1
神社	坂社・藤社	さかのやしろ・ふじのやしろ		八日市場町
神社	須原大社	すはらじんじゃ	E2	一之木1
神社	月夜見宮	つきよみのみや	E2	宮後1
神社	造神宮山田工場	ぞうじんぐうやまだこうじょう		現 式年遷宮造営庁山田工作所



今社 清野井庭神社 大間国生・草奈伎神社 須原大社

今社高札説明文:「今」は、宮川分流の清川に面した地名「井庭(いば)」、または流水をたくわえる「井場(いば)」に発した名で、ここは、外宮摂社の清野井庭神社の跡地とも言われているところです。御祭神はこの沃野にあって五穀豊穡をつかさどる神です。しかし、19世紀の記録「小祠拾」によれば、昔の本社は「宝殿ナクシテ石壇鳥居アリ、社地広く老樹数株アリ」と言われるように石壇に靈石を奉安したのみの、原始の形をとどめたものでした。社殿がつくられたのは明治44年のこと。そして毎年2月、厳寒の御頭神事には、この神苑でドンドン火をたきます。



坂社



上座蛭子神社

坂社高札説明文:昔、この地方は山田ヶ原と称し、宮川の分流が幾すじも流れ堰や原野があり、水止野・清野・前野・美野・坂野などとも呼ばれていました。これらの地には、その土地の名をつけた産土神をお祀りしました。これらを産土神八社と称し、当社も八社の一つで、坂野神社・坂村社など称されてきました。創建年代は明らかではありませんが、古記録などから、およそ1200年前の奈良朝末期に祀られた古祠と推察されます。時代はくだって、中世、山田の地は、坂・須原・美野の三方に分けて自治がおこなわれてましたが(「山田三方」の由来)、当社は坂地方(八日市場から浦口に至る区域)の人々が、崇敬した産土神であります。ところで中世、このあたりは、その町名からわかるように毎月八のつく日に市が立ってにぎわいました。境内社の上座蛭子社は、その市の護り札をまつる社です。また、産土八社の一つ藤社は昭和20年に外宮宮域の整備のため当地の合祀されました。



月夜見宮 神路通り入口にある「月よみさんへ」道標 現、式年遷宮造営庁山田工作所 貯木場

寺	欣浄寺	ごんじょうじ	E1	一之木2 古市にあった同名寺が移築か？
寺	常照寺	じょうしょうじ	C4	宮町1
寺	常明寺	じょうみょうじ	D2	須原神社裏 倭町の旧常明寺とは別寺
寺	等観寺	とうかんじ	C4	八日市場町
寺	連随山梅香寺	ばいこうじ(れんずいさん)	A4	常盤2
寺	法住院	ほうじゅいん	A4	浦口3 かさもり稲荷



欣浄寺2022年？焼失 常照寺 常明寺 梅香寺

観音山蓮華院梅香寺:浄土宗鎮西派知恩院末。本尊は阿弥陀如来。もと蓮随山にあった。1615 蓮随上人が元和元徳川家康の側妾お梅の方(梅香禅尼)のために創立。1658 万治元焼失したが再興され、1910 明治43現在地に移建、現在に至る。復刻「山田惣絵図」解説書より 連随山に登って梅香寺奥の院跡を見ました。



奥の院記念銘文 家康側室お梅の方 梅香禅尼の墓？ 十一面観音への道 十一面観音



三宝院跡碑(坂社前) 等観寺

靈衍エン山等観寺: 曹洞禅宗総持寺末で本尊は釈迦牟尼仏。1394 応永元、後小松院の勅願により草創。1706 宝永3火災にあい 1711 正徳元堂宇を再興、現在に至る。復刻「山田惣絵図」解説書より

邸	荒木田久老 邸	あらかだひさおゆ-てい	B3	常盤2
	<p>延享3年(1747)~文化元年(1804)。江戸時代中期から後期にかけての伊勢神宮祠官・国学者。実父は外宮権禰宜 度会正身(わたらいまさのぶ)。初名は正恭、後に正薫と名乗った。通称は弥三郎、主税(ちから)、斎(いつき)など。号を五十槻と称し、家号を五十槻園(いつきのその)と称した。最初、宇治秀世の養子となったが、安永2年(1773)荒木田久世の婿養子となり、内宮権禰宜となった。明和2年(1765)江戸で賀茂真淵に師事し、国学や和歌などを学び、特に「万葉集」を研究した。「万葉考槻の落葉」「祝詞考追考」などの研究書を著している。なお、晩年は本居宣長の学派と対立した。 フリー百科事典『ウィキペディア』より うらのはし商店街の歩道にあった→</p>			
邸	杉本普斎 邸	すぎもとふさい てい	E2	一志町
	<p>宝永3年(1706)年没。茶人。千利休の孫、宗旦に茶道を学んだ宗旦四天王の一人。清貧に甘んじ質素な暮らしをしたが、茶道に関しては一流だった。寛文9年(1669)当時の鳥羽城主、内藤忠重が山田を訪れた時、彼は畳を売ってもてなしたと言う。山田のまち「物語」散策絵図より</p>			
邸	中村安右衛門邸	なかくらやすうえもん てい	D1	大世古2 新道通り
邸	中村亥三郎邸	なかむらいさぶろう てい	D1	大世古2 新道通り 広玉楼の後。
邸	松田雪柯 碑	まつだせつか ひ	E3	一志町 書家
邸	松葉屋風瀑 邸	まつばやふうばく てい	D3	大世古1
	<p>蕉門。伊勢国、宇治山田大世古町の人で、伊勢神宮の年寄師職家。江戸の出店で諸俳人と交流。「一楼賦」(貞享2年刊)、「丙寅紀行」(貞享3年刊)を編著。芭蕉は「野ざらし紀行」に旅立つ2ヶ月ほど前の貞享元年6月中旬、江戸から伊勢に帰る風瀑に「風瀑を餞別す 忘れずば佐夜の中山にて涼め(歌枕の佐夜の中山の峠を越える時、当地を詠んだ古歌を思い出しましたら、一涼みしながら一句捻ってみなさい)」の餞別句を送っている。場所は未確認! 松尾芭蕉の旅 野ざらし紀行 俳聖 松尾芭蕉・生涯データベースより</p>			
銀行	百五銀行	ひゃくごぎんこう	D2	曾祢1
工場	神都製紙	しんとせいし	D3	大世古1 現)大豊和紙工業(株)
工場	専売局出張所	せんばいきょくしゅつちょうじょ	A3	常盤2
工場	造神宮山田工場	ぞうじんぐうやまだこうじょう	D4	常盤町 現)神宮司庁山田工作所
工場	松田ミシン(工場)	まつだみしん	D2	大世古1 2010年末? 新築
	<p>元ミシン工場の三角屋根。小学校の通学路にあって前を通るのが恐ろしかった。</p>			
商店	秋田洋品店	あきたようひんてん	C12	大世古2
	<p>明治20年(1887)創業。看板には英語で、「Gent's Outfitter, Draper, Perfumer, etc」(紳士用旅行用品商、生地商、香料商など)と書いてある。平成23年(2011)閉店、124年の歴史の幕を下ろしました。寂しいです。</p>			
商店	魚卵	うおう	B4	常盤2 魚屋?
商店	岡本武蔵傘店	おかもとむさしかさてん	B4	常盤2
商店	小西煙草店	こにししたばこてん	D1	大世古2
商店	小西万金丹	こにしまんきんたん	D3	八日市場町
商店	定八屋	さだはちや	C2	曾祢1 ? 屋
商店	世古善市場	せこぜんしじょう	E1	一之木1
商店	高村薬局	たかむらやつきょく	C12	曾祢2
商店	滝川書店	たきがわしよてん	C2	曾祢1
商店	田辺飛脚店	たなべひきゃくてん	B4	常盤2
商店	知新堂書店	ちしんどうしよてん	C2	曾祢1



				
商店	橋本呉服店	はしもとごふくてん	C2	曾祢1
商店	穂原自動車	ほはらじどうしゃ	B4	常盤2
商店	松田呉服店	まつだごふくてん	C2	曾祢1
商店	村雲写真館	むらくもしゃしんかん		大世古2
			D1	同館撮影のご先祖の写真が出てきた
商店	八百善	やおぜん	B4	常盤2 八百屋?
商店	山甚傘店	やまじんかさてん	B4	常盤2
御師	東大夫邸	とうたゆうてい	E3	一志町
古今伝授創始者を祖に持ち、類題文墨の才人輩出と石碑に刻まれている「東 常緑」(とうのつねより) 邸跡				
御師	橋村大夫邸	はしむらたゆう てい	A3	常盤2
御師	葉山大夫邸	はやまたゆうてい	B3	常盤2
御師	福島大夫邸	ふくしまたゆうてい	D4	八日市場町
御師	丸岡大夫邸	まるおかたゆうてい	C3	宮町1
御師	龍大夫邸	りゅうだゆうてい	D3	大世古1
旅館	旅館 奥文	おくぶん りよかん	C3	宮町1
06.11.25宿泊。昔は奥文楼と呼ばれ、鰻料理で有名だったという。明治26年 1893 創業。高柳商店街の裏の宮町にある。朝食付宿泊料はビジネスホテル並みですが、静かで広くのんびりできます。こんな素晴らしいところに泊まってみてください				
				
				
旅館	吸霞園	きゅうかえん	E3	一志町 父母の結婚式を行った
旅館	柳屋旅館	やなぎやりよかん	D2	曾祢
飲食	海月	かいげつ	D1	大世古2 新道通り 後、魚勘
飲食	更科	さらしな	D1	大世古2 新道通り そば
飲食	扇月	せんげつ	C2	曾祢1 喫茶 洋菓子

飲食	麗人座	れいじんざ	DE1	大世古2 新道通り カフェ 現ハシモト洋品店辺り
遊郭	小川楼	おがわろう	D1	大世古2 新道通り
遊郭	広玉楼	こうぎょくろう	D1	大世古2 新道通り
遊郭	末広	すえひろ	D1	大世古2 新道通り
遊郭	戸田屋	とだや	D1	大世古2 新道通り
遊郭	増田屋	ますだや	D1	大世古2 新道通り 現、マスダヤ文房具店辺り



元 割烹 水月



戸田屋



現 マスダヤ文房具店

遊郭	嬉春亭	きしゅんてい	D2	大世古1 新道通り裏
遊郭	新川楼	しんかわてい	D2	大世古1 新道通り裏
遊郭	新增屋	しんますや	D2	大世古1 新道通り裏
遊郭	新町遊郭	しんまちゆうかく	C1	曾祢2～宮町2？
遊郭	愛知楼	あいちろう	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	栄楼	さかえろう	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	新開楼	しんかいろう	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	竹本楼(茂本楼)	たけもとろう(しげもとろう)	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	巴楼	ともえろう	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	豊政楼	とよまさろう	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	藤原屋	ふじわらや	C1	曾祢2～宮町2？新町
遊郭	宮本楼	みやもとろう	C1	曾祢2～宮町2？新町
演劇	新富座	しんとみざ	B2	曾祢2 古市にあった長盛座の後進
演劇	帝国座	ていこくざ	D1	大世古2

参考文献

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』、伊勢商工会議所・伊勢文化舎発行「検定 お伊勢さん」写真集 明治大正昭和 伊勢二見小俣、目で見ると伊勢・志摩の100年、図説 伊勢・志摩の歴史 下巻ほか 寛永20年内外宮領図(1643)、寛永中山田郷内惣図(1670)、山田惣絵図(1662)、御神領宇治山田町在惣図(1672) 享保年中宮川以東神領之図(1725 頃)、伊勢路見取絵図(1797)、山田町之図(1815)、山田町分細見(1850)、神都実測図(1900 明治33年)、宇治山田市平面図 宇治山田市編纂(1919 大正8年)、宇治山田商工業案内地図 発行者不明 (1920 大正9年)、宇治山田市(地図) 東京交通社発行 (1923 大正12年)、宇治山田近傍(地図) 大日本帝国陸地測量部(1930 昭和5年) 橋爪忠三氏・川端義夫氏想起による作成地図の柴田勉氏他の転写地図 (明治初年・30年頃、大正年間～昭和15年、昭和3年・15年・20年末) 宇治山田市街図 滝川書店発行(1954 昭和29年)、伊勢・鳥羽周辺地域図 人文郷土地図発行(2005 平成17年)、その他、各種地図資料